

りっぷる

エスコープ大阪機関紙

第167号

11

16. .21

C o n t e n t s

表紙

・便利な素材プラスチックが引き起こす環境汚染

P2

・「生活クラブ電気」の供給がスタートしました

P3

・活動報告「われら農民生かす運動本部(ウリ農)」訪問「立川有機米研究会稲刈り交流」「針江稲刈り」

・地場野菜

P4

・私たちのエネルギーを考える!
・エコロ給付状況報告
・子育てひろば案内
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

便利な素材プラスチックが引き起こす環境汚染

便利で楽な生活を求め、大量生産・大量消費・大量廃棄を続けた結果が「ごみ問題」をもたらしました。ごみの中で占める割合の多い容器包装の材料でプラスチック製品が急増しています。そのプラスチックが「マイクロプラスチック」(5mm以下のプラスチック)となって、世界の海を汚染している実態を調査・研究している高田秀重さんにお話を伺いました。(聞き手:環境担当常務理事 泉 容子さん)



東京農工大学農学部環境資源科学科教授

高田 秀重さん

大量生産・大量汚染がマイクロプラスチックを生み出す

泉 プラスチックによる環境汚染の現状について教えてください。

高田 ここ数十年の間に、プラスチックが非常にたくさん使われるようになりました。世界で年間3億トンのプラスチックが生産されています。その原材料として世界の石油産出量の4%が使われ、同量の石油が加工のエネルギーとして使われています。これは地球温暖化や廃棄物問題として無視できない多さです。プラスチック製品の半分が容器包装です。ということは使い捨てされる物ということです。日本人は一人当たり年間でペットボトル100本、レジ袋300枚使っていることになりました。プラスチックの生産量が増えているので、ごみとなる割合も増えています。ごみ収集されなかったもの、例えばポイ捨てなどが水路に入り、川から海へと流れていきます。プラスチックは軽いので水に浮き、遠く海外までも流れていきます。そして風化し、砕けてマイクロプラスチックとなります。



講演会には67名が集まりました。

マイクロプラスチックによる生態系や人への影響は起こっているのでしょうか。

泉 マイクロプラスチックによる生態系や人への影響は起こっているのでしょうか。

高田 そもそもプラスチックは製品の向上のためにさまざまな添加剤が使われていますが、熱を加えると溶出する問題があります。以前の調査で食品包装用ラップと、そのラップで包まれたおにぎり、プラスチック容器に入ったアイスクリーム、乳児の歯固めからも、環境ホルモンであるノニルフェノールが検出されました。その後、行政指導が行われ、日本のメーカーでは自主規制していますが、海外から輸入されるものでは検出されます。添加剤が入っていないとしてもプラスチックは石油から作られているため分解性が悪く、数十年〜百年の間分解されません。海鳥や魚が海にたどり着くマイクロプラスチックをプランクトンと一緒に誤食しています。東京湾で調査したところ、カタクチイワシ64尾中49尾からマイクロ

「私たちにできる「使わない」選択

私たちにできる「使わない」選択

高田 マイクロプラスチックの発生を防いだり、自然界に出てしまったマイクロプラスチックを処理する方法はありますか？
高田 一度マイクロプラスチックが自然界に出てしまうと回収は難しいです。海に流れ出ないように、ごみ収集の徹底やリサイクルを進めればすむ問題ではありません。リサイクルをすすめるとしてもコストやエネルギーがかかります。ペットボトルはリサイクル率が85%ととても良いのですが、それ

でも残りの15%はごみとなり、そのうちのいくらかが海に流れています。プラスチック容器の使用量が増えれば海に流れる量も増えます。初めから作らない、使わないことが大切です。使わなければ、環境へ出ることもありません。プラスチックは便利な素材であり、なくてはならないものですが、使う時には有害性と必要性を考慮すべきです。本当に必要か？ 代替えはないのか？ 特に使い捨てするレジ袋やペットボトル飲料は極力避けましょう。ごみを減らすには「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rの優先順位が重要です。

高田 生活クラブでは、地球生態系のためのごみ減量システム「グリーンシステム」として、プラスチック容器の発生抑制に取り組み、びんを利用・回収・再利用するしくみをすすめています。この取り組みはCO₂排出削減にもつながります。

高田 とても良い取り組みだと思います。政府はTPP批准に向けてやつきになっていますが、環境配慮のために2020年には実質的な温暖化ガス排出をゼロにするというパリ協定への批准の方を急ぐべきです！

泉 目先の利益よりも、十年後百年後の未来を見据えて行動したいです。



泉さん

「生活クラブ電気」の供給がスタートしました

生活クラブでは持続可能な未来のために、エネルギーを自給する暮らしと地域づくりをめざしています。まずは省エネをすすめるとともに、自然エネルギーをつくり・使うために電気の共同購入を始めました。自然エネルギーを広めて、原発に依存しない未来を子どもたちに手渡しましょう。

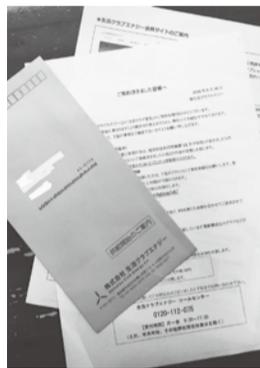
生活クラブ電気が「うち」にきた!!

10月から生活クラブ電気が届いています

7月中旬に契約書を提出したから10月の検針日から「生活クラブ電気」に替わりました! とは言っても、今までの電気と何も変わりませんが…

※契約書を提出してから切り替わるのに、約3ヶ月かかります。

生活クラブエネルギーから案内が届きました



9月30日付で「(株)生活クラブエネルギー」から「供給開始のご案内」の封書が届きました。内容は「生活クラブ電気」の供給開始日と口座引き落とし日、Webサイトへの会員登録の手続き方法などが書かれています。

あっという間のメーター取替工事

新電力会社に切り替えた家から優先的に電力メーターがスマートメーターに取り替えられているようですが、うちも新電力供給前に関西電力の下請け会社の職員が来て取り替え工事を終えました。



従来のメーター



スマートメーター

生活クラブ電気利用者のコメント

浦 和子さん

オール電化のわが家。生活クラブ電気に変えると5千円ぐらいアップすると聞き、「え〜っ!! やめます。」と伝えました。でも私は何の為に生活クラブ電気に変えようと思ったのか? 「原発と関係のない電気を使いたい」、「5人の孫やこれから生まれてくる子どもたちに、このきれいな日本を渡す義務があるのではないか」、「東北の方たちの大変な思いを、この日本で誰も二度と味わってほしくない、日本だけでなくこの地球上の人たちにも味わってほしくない」などの思いがあるのに料金がアップするからといってやめるべきではないと考え直し、生活クラブエネルギーに契約しました。電気代が増える分違うところでの無駄遣いをしない生活を心がけていきます。

料金 使い勝手

替えても「変わらない」未来が大きく変わる電気です

2016年4月より電力小売り全面自由化となりました。新規参入した電力会社は300社を超えています。半年が経った今でも契約切り替えをした世帯は3%未満しかありません。電力会社を選ぶことが、発電所を選ぶことにつながり、自然環境への影響や先々の私たちの暮らしに大きく影響するということが広く伝わっていないことが原因だと思います。

「生活クラブ電気」は自然エネルギーを30~60%入れることを公言し、近い将来100%を目指しています。自然エネルギーを広めることでCO₂削減や原発に依存することもなくなります。生活クラブの電気は未来を変える電気です。

未来が変わる「生活クラブ電気」を選ぼう!

井上 里紗さん



いよいよわが家にクリーンな電気がやってきました。「やっと来たか!!」それが正直な感想です。東日本大震災を埼玉県で経験した私たち夫婦は「放射能は毎日の生活を脅かすもの」という事を身をもって知っています。関西で暮らすと実感しにくいですが原発由来の電気を使う(=支持している)事は自ら生活を危険にさらしているのと同じです。「今までと何も変わらんのに、なんでみんなこっちを選ばへんのかなあ?」と夫も不思議そうにしていました。

北辻 美樹さん



先日、生活クラブエネルギーより供給開始の案内が届きました。それを見つけた夫が「あ、電気変わったんか」とひと言。そう言えば…と家族で天井の電気を見つめました。当たり前だけれど、何も変わりません。子どもたちには「うちで使っている電気は今、使っていても何も変わらないけれど、未来が大きく変わる電気やから」と話しました。こう宣言したからには本当だという事を証明しなければなりません。みなさん一緒に未来を変えませんか。子どもたちの未来のために。

任意に追加できます

ちょっと嬉しい話

- 電気料金利用明細書を、ハガキ送付ではなくWebで確認する手続きをすれば54円(税込)割引されます。
- 「生活クラブ自然エネルギー基金」に申し込むと、毎月の電気料金の5%を基金に寄付できます。寄付されたお金は自然エネルギーの開発や省エネルギー活動などに活用します。

生活クラブエネルギーのホームページは情報が満載

Webサイトでは生活クラブエネルギーが契約している発電所紹介や毎月供給している電源構成比などの確認ができます。省エネ情報や電気に関する情報もあります。新規申込や相談もできます。http://scenergy.co.jp

会員サイトで自宅の電気使用量がチェックできる

また、会員サイトに登録すれば、

- 毎月の請求情報や過去の請求実績の確認
- グラフや表による時間ごとの使用状況の照会や使用傾向の分析レポートができます♪

これが特徴!!

請求書には月ごとの電源構成が記載されます

12月中旬に電気料金請求書が届くのが楽しみ♥

※電源構成の「その他」は提携会社である「サミットエナジー(株)」より自然エネルギーを中心に供給しています。

項目	単位数	単価	金額	比率
基本料金	1	3,231	3,231	25%
電灯料金	145	145	21,025	17%
ガス料金	145	145	21,025	17%
生活クラブ電気	145	145	21,025	17%
生活クラブ自然エネルギー基金	145	145	21,025	17%
振替手数料	1	145	145	1%
合計			85,511	100%

振替日は23日

(株)生活クラブエナジー請求書(圧着ハガキ)

理事会
「われら農村生かす運動本部(ウリ農)」
 訪問
 10月6日(木)～8日(土)
 韓国ソウル市周辺

理事会 岡 公美



チェ・ヨンワさん

国をまたいだ運動の仲間たち①

を追い出そうとしたそうである。日本と同じく経済優先で、韓国でも農業に対する国の考え方、農民の扱いは厳しいものです。生産者を守るウリ農の役割はとても重要だと思

ました。

「ウリ農」の運動が始まったのは「ガット・ウルグアイランド」の時、自国の食料への不安・危機感を持たれ、韓国のカトリック教会の中で国内農業を守ることをすすめようと、団体の名のとおり農村を守る運動が始まりました。土を生かし農民を守ることは自分たちのいのちを守ることに繋がります。生産者とウリ農は「生命共同体」であるという考え方ももっています。考えを貫かれています。感じた点として、ウリ農で扱っている物品の選定はウリ農(消費者)と農民会(生産者)の半々で構成されている委員会で行っていることです。この考えには驚きです。

生産者のチェ・ヨンワさんの圃場見学では、有機農業をすすめることの厳しさと大変さを知りました。これまで国がソウル市民の水源として圃場周辺の開発制限をしましたが、「有機農業も水源を汚染する」として農民たち

国際交流についていつも思うことは、私たちが抱える問題は自国だけでは解決できないことがたくさんあり、国は違っても共通する問題について意見交換をし、力を合わせて一緒に運動をすすめていくことが大切だと思えます。



生産者と交流してお米を知ることができ勉強になりました

泉州地域
立川有機米研究会
 稲刈り交流
 9月10日(土)～
 9月11日(日)
 山形県庄内町

泉州地域委員 宮田 恭子



介をし、さつそく「山居倉庫」へ行きました。山居倉庫は歴史ある建物で、現在でも米を保管するのに使われているそうです。

エスコープ大阪では毎年、「立川有機米研究会」を訪問し交流しています。今年も組合員3名子ども1名で訪れました。山形県の余目駅には生産者の方々が出迎えてくださり、お互いに自己紹

混せて堆肥を作り、田畑の土壌改善に使われています。30年も前から、ごみの減量や風車による風力発電にも取

次に「庄内町堆肥センター」を見学しました。家庭から出る生ごみにもみ殻、家畜ふんを

河内長野・大阪狭山地域
針江稲刈り交流
 9月22日(木)
 滋賀県高島市

河内長野・大阪狭山地域理事 糸川 江里子

環境を守ることが子どもたちに送る最高の贈り物

米栽培グループ代表の水田さんから作柄や収穫量についてお聞きしました。今年も例年通りの作柄と収穫量が見込めそうです。



昼食後、子どもたちは交流会会場の前を流れる水路で水遊びをし、大人は川端見学へ。「水路の水には川端から湧き出た水が流れていて、今流れている水は江戸中期以降の雨や雪が湧き出たものです」と説明してくださいました。生産者の石津さんは、先人から受け継がれた環境の恩恵や地域の話を子どもたちに伝えたいと学校に出向き、話継ぐ活動をされています。

不安定なお天気の中、組合員とその家族、合計38名で「針江げんき米栽培グループ」を訪問しました。生産者の皆さんと「JA新旭町」の職員さんが出迎えてくれました。昨日までの雨のため、足元の悪い状況での稲刈りになるだろうとのことでしたが、さつそく圃場に向かい、生産者から稲刈りの指導を受け、大人も子どもも用意された鎌を手に、黄金色の稲穂が実る圃場に入っていました。自分で刈り取った稲を見せ合ったり写真を撮ったりと楽しく稲刈りをしました。そのうちに子どもたちは圃場の周りの生き物たちに夢中になり、コオロギや青カエルを捕まえようと、大騒ぎしながら楽しい時間を過ごしました。

私たちが「針江げんき米」を食べ続けることで、生産現場の向上に寄与できることができません。ぜひ、多くの組合員に『針江げんき米』を食べてほしいと思います。



り組まれていたことを知り、先進的な活動を素晴らしいと思いました。

その後は、稲刈り体験へ。私は初めてなのでできるか不安でしたが、生産者の方々が稲刈りから稲の結わえ方まで優しく教えてくれました。稲の結わえ方が難しかったですが、何度か結わえているうちにできるようになりました。子どもは「刈り方が上手だね」とほめてもらい、がんばっていました。



杭に稲を全部積み上げ、干し終えたらきは充実した気分でした。圃場には、たくさんのアマガエルやドジョウもいて、自然に触れた1日でした。二日目、カントリーエレベーターから見た庄内平野のどこまでも広がる田の広さにびっくりしました。立川の生産者の皆さんは庄内平野の美しさに誇りをもっていると感じました。交流会に参加された9名の生産者が「大阪の組合員さんがササニシキを食べたいと言ってくれる限り作り続けます」とおっしゃった言葉に心が打たれ、たくさんの組合員に『立川米(ササニシキ)』を勧めようと思いました。

私たちの『旬菜セット』はね…



生産者の大谷さん

白ねぎ

チャレンジ野菜がいよいよ出荷!

【4月下旬】始まりは、ポットに入ったヒヨロっとした苗との出会いでした。種を播いてから約2カ月でいよいよ畑に植えます。肥料は有機肥料を栽培期間中3回ほど撒き、農薬は使いません。この時点では畝は低いですが、10月中旬まで定期的

に土をかけて畝を高くしていきます。白ねぎの白い部分が上に伸びていくのに合わせて土をかけないと青くなり固くなってしまいます。

【9月中旬】土かけ作業の見学に行きました。夏の日照りで青い葉が焼けて黄色くなったり、台風の影響があったようですが、また今年

は根切り虫が発生して育たなかった苗があり、ところどころ間引かれています。農薬は自然との闘いですが、農薬を使わないで育

てるとなると特にですね。土かけ作業はクワを使いましたがとても大変でした。【10月中旬】最後の土かけ作業のお手伝いに伺いました。畝は高くなっており、白い部分が立派に太く長くなっていました。しかし、雨が多くて水はけも悪く、土の状態が良くないようで、中には細いものもチラホラ。害虫の影響も出ていました。今度はヨトウムシで、葉の部分に住み着いていたのを見せたい大ききな糞が残っていました。作業軽減とよく土が被るように畝をつくる機械があり、運転させていただきました。が、動力が付いていないはずなのに押すタイミングや方向によっては動かさない! 下手に押すと暴走しそうで、結局クワで少しお手伝い。収穫まであと一カ月弱で10mほど伸びるそうですが、白ねぎ栽培の作業の多さと期間の長さを知りました。大谷さんが育てた白ねぎを残さずみんなで食べたいです。



みんなで「目合わせ」しよう!

『旬菜セット』の充実に向けて始まったチャレンジ取り組み。今年は白ねぎの出荷量が少なく、一部のコースの方へのお届けとなります。通常規格は2本と考

えていますが、畑には細いものもあり、初回は重さで統一してお届けします。今後の規格は皆さんと「目合わせ」をして決めたいと思います。白ねぎと一緒にお届けするアンケートに「食味」「規格」「価格」などについてご意見ください。一緒に規格を決めましょう☆

